

## 平成 29 年度 博学連携事業

### 大阪平野のジオヒストリー講演会

開催日：平成 29 年 11 月 25 日（土）

開催場所：歴史博物館 4 階講堂

受講者：155 名

内容：

#### 第 1 部 講演会

- ・「大阪平野のゆりかご：近畿のかたい石」奥平敬元（理学研究科 教授）
- ・「平野地下に広がる地層をさぐる」三田村宗樹（理学研究科 教授）
- ・「大阪平野にいた生き物たち」塚腰 実（自然史博物館 主任学芸員）
- ・「大阪平野の遺跡の地層を読む－大阪市を中心に－」小倉徹也（大阪文化財研究所主任学芸員）

#### 第 2 部 質疑応答



三田村教授による講演

### シンポジウム「秀吉の三都」

開催日：平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）

開催場所：田中記念館ホール

受講者：303 名

内容：

#### 第 1 部 講演会

- ・「豊臣期首都論」谷 徹也（京都大学大学院文学研究科 助教）
- ・「秀吉の城下町の形」松尾信裕（大阪歴史博物館 研究主幹）
- ・「秀吉の城郭構造」中井 均（滋賀県立大学人間文化学部 教授）
- ・「日本の中の「三都」」仁木 宏（文学研究科 教授）

#### 第 2 部 ディスカッション

「豊臣政権にとっての「三都」の意義。その中での大坂の役割。」



ディスカッションの様子

### 文化交流センター 博学連携講座「再論！ 真田丸と大坂の陣」

開催日：平成 29 年 11 月 6 日、13 日、20 日、27 日（全 4 回）

受講者：のべ 382 名

内容：

- 第 1 回「絵図・地図からみた真田丸の位置と構造」松尾信裕（大阪歴史博物館 研究主幹）
- 第 2 回「大坂冬の陣のなかの真田丸の戦い」大澤研一（大阪歴史博物館 学芸課長）
- 第 3 回「発掘調査からみた大坂城外縁部と真田丸」市川創（大阪府文化財保護課 技師）
- 第 4 回「豊臣時代の大坂とは何だったのか～歴史の転換点における城と都市」  
仁木宏（文学研究科 教授）

## ミュージアム連続講座「海をめぐる歴史・文化・自然」

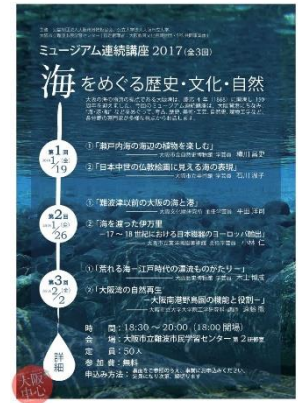
開催日：平成30年1月19日、26日、2月2日（全3回）

開催場所：難波市民学習センター

受講者：のべ91名

内 容：

- 第1回 ①「瀬戸内海の家浜植物を楽しむ」  
横川昌史（大阪市立自然史博物館 学芸員）  
②「日本修正の仏教絵画に見える海の表現」  
石川温子（大阪市立美術館 学芸員）
- 第2回 ①「難波津以前の大阪の海と港」平田洋司（大阪文化財研究所 主任学芸員）  
②「海を渡った伊万里—17～18世紀における日本磁器のヨーロッパ輸出」  
小林 仁（大阪市立東洋陶磁美術館 主任学芸員）
- 第3回 ①「荒れる海—江戸時代の漂流ものがたり—」木土博成（大阪歴史博物館 学芸員）  
②「大阪港の自然再生—大阪南港野鳥園の機能と役割—」遠藤 徹（工学研究科講師）



## 共同研究〈戦略的研究・科研費等〉

戦略的研究（基盤研究／平成29年度）

「豊臣期大坂城本丸・詰の丸の地下探査による復元研究—文理融合・博学連携プロジェクト—」

代表研究者：仁木 宏教授

内容：大阪歴史博物館、大阪文化財研究所等との文理融合による大阪城中心域の共同研究

## JMOOC教材「日本の都市史研究の最前線」(全16回)

文学研究科日本史研究室が都市史研究に関するオンデマンド教材を制作。政策にあたっては、大阪歴史博物館から学芸員の出演や館所蔵史資料を活用等の協力を得た。

<https://www.jmooc.jp/>

